

2024 年度 第1回 東洋英和保育研究会

「日本・ニュージーランド・イタリアにおける保育カリキュラムの創造と評価の研究」(基盤研究 B 代表 塩崎美穂)主催

シンポジウム NZ の保育から学ぶ

Pakuranga 幼稚園 ジャッキー・リー先生講演

「人や土地とのつながりを深める保育実践

— ニュージーランドにおける保育の思想・哲学」



日時；5月19日（日）13：00～16：00

場所；日暮里保育園（東京都荒川区西日暮里 2-2-7）日暮里駅から徒歩 5 分

内容；13:00-14:00 講演「人や土地とのつながりを深める保育実践」 ジャッキー（パカランガ幼稚園）

14:00-14:30 質疑応答

14:40-15:00 「多様な文化を尊重する NZ の保育」 鈴木佐喜子（元東洋大学教授）

15:00-15:20 「ちがうからこそ伝えたい—所沢市の保育実践から」上田隆也（公立保育園保育士）

15:20-16:00 全体討論

*シンポジウム全体を通して、配布資料や適宜行う通訳によって対話的な思索の場になるように努めます

司会 塩崎美穂（東洋英和女学院大学） / 通訳 ハント愛（お茶の水女子大学学生）



https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScdyy_Z090uyPugjxP8Hvh5diA2NHcH3x9aenFhQ9gRTIzZYg/viewform?usp=pp_url

【申込方法】左記 QR コード、あるいは上記 URL より Google フォームにアクセスし、5月15日（水）を目途に参加登録を行ってください。無料です。どなたでもご参加いただけます。



今回はニュージーランドの保育者ジャッキー・リー氏に、パカランガ幼稚園の実践を通して、「リスニングの教育学 (the pedagogy of listening)」「ゆっくりとしたアプローチ an unhurried approach」等の視点を含め、どのように「人 (people)」や「土地 (place)」とのつながりを保育で大切にしているのかお話しいただきます。「多様な文化を尊重する保育」とは具体的にどのような実践として展開しているのか、子ども自身が学び手として探究し続けることを願う保育実践者の思想的背景にはなにがあるのか、日本で行われている保育実践も共有しながら、参加者のみなさんと一緒に考えてみたいと思います。くわえて、現在、研究領域をこえて語られる「土地に根ざす (place-based)」という視角の含意や、地域によって理論と実践が多様に展開している「インクルーシブ教育・保育」についても、時間の許す限りお話しできれば…と思っています。

お問い合わせ先；塩崎美穂 shiozaki.miho@toyoeiwa.ac.jp メールにてご連絡ください